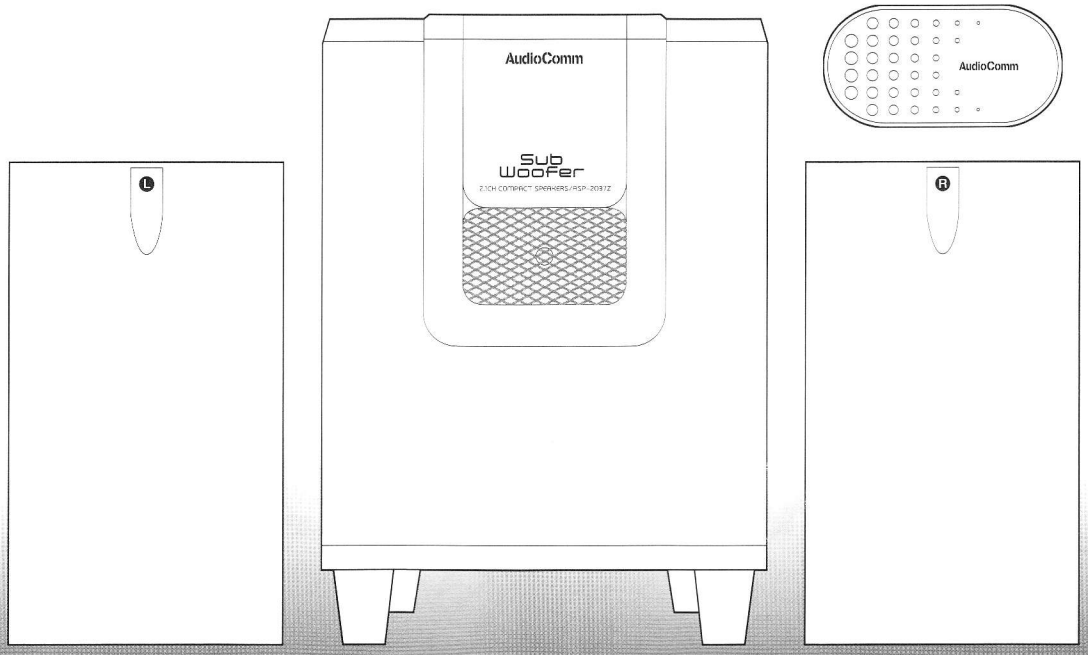
AudioComm®

取扱説明書

2.1ch コンパクトスピーカー（総合出力 6.5W アンプ内蔵）

ASP-2037Z

商品番号：03-2037



このたびは、AudioComm® 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 1
各部の名称 …… 3
接続方法 …… 4
設置のしかた …… 5
ご使用方法 …… 5
主な仕様 …… 6
お手入れのしかた …… 6
故障かな?と思ったら …… 6
保証書とアフターサービスについて
保証書

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は感電注意が描かれています。)

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止が描かれています。)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	コードを交換する	●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグを抜いてください。
異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。	禁止	●表示された電源電圧交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流 DC 電源には接続しないでください。火災の原因となります。	禁止	●本体やサテライトスピーカー、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
		禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

禁止

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

コンセントから抜く

●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

禁止

●腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所に置かないでください。変質により、感電・故障の原因となることがあります。

禁止

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

コンセントから抜く

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部機器などのコードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
コンセントから抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いてください。

禁止

●電子楽器等で極端に歪んだ信号を大音量で鳴らさないでください。スピーカー破損の原因となります。

音量に注意

●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コンセントから抜く

●旅行などで長期間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

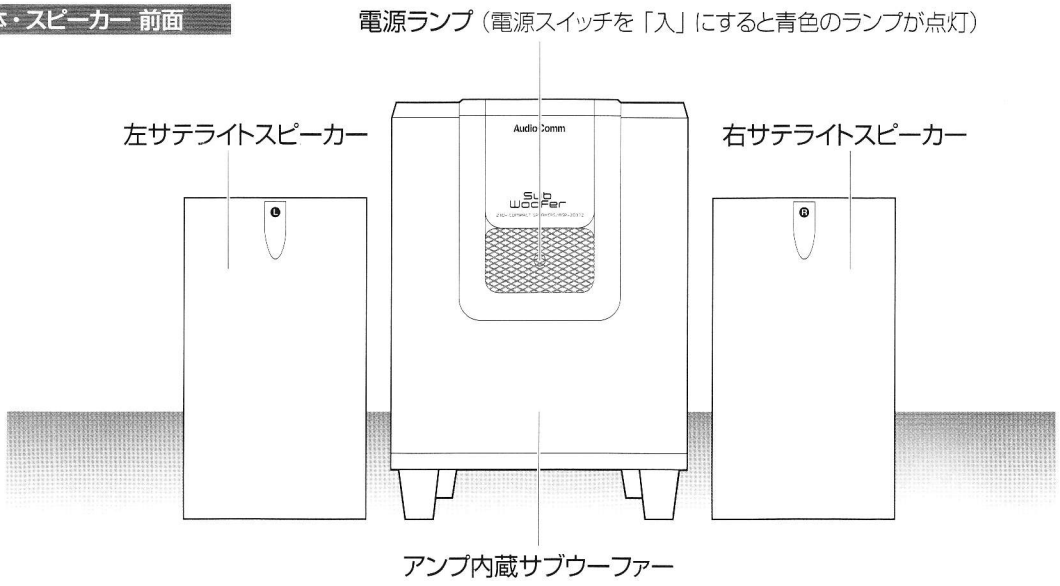
禁止

●録音したテープ、キャッシュカード、定期券など磁気を使用した記憶媒体を本機のスピーカー部に近づけないでください。大切な磁気情報に影響を及ぼす場合があります。

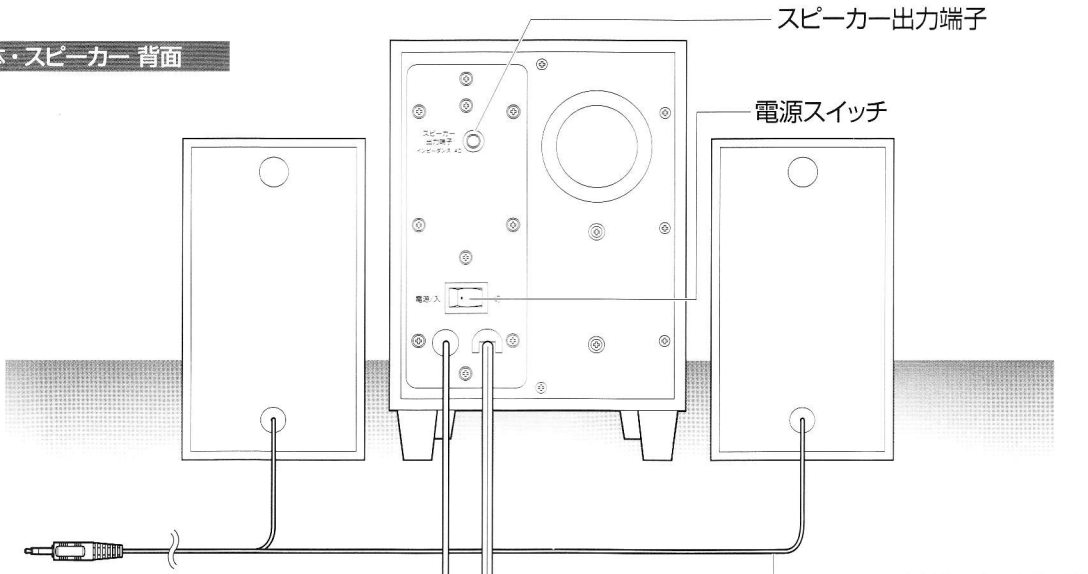
※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

本体・スピーカー 前面

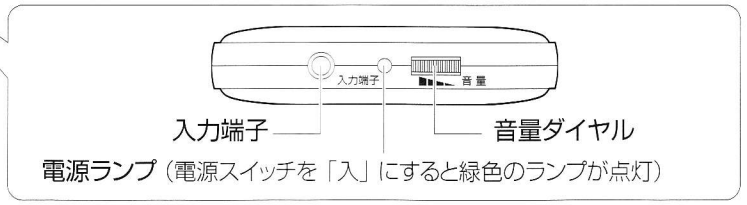


本体・スピーカー 背面



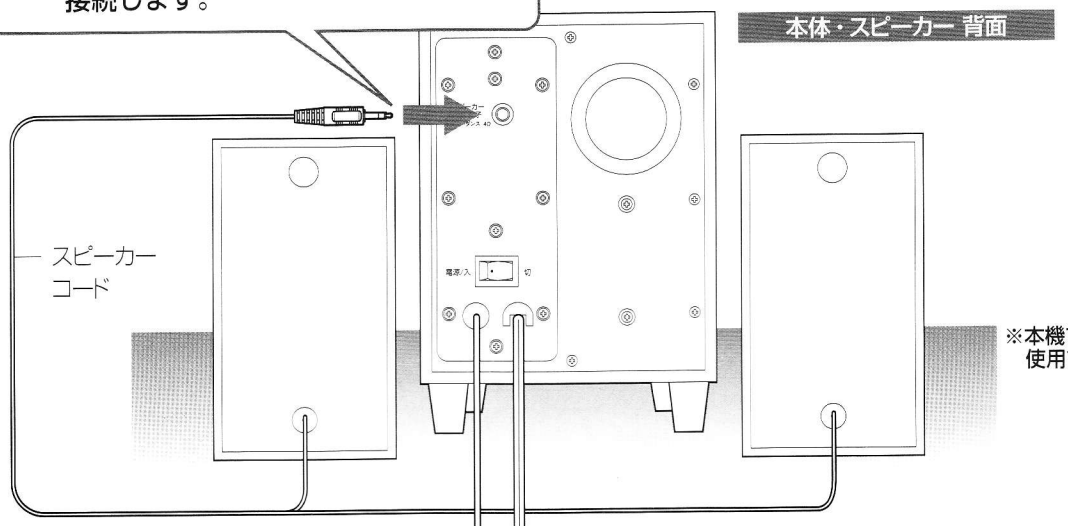
手元コントローラー 上面

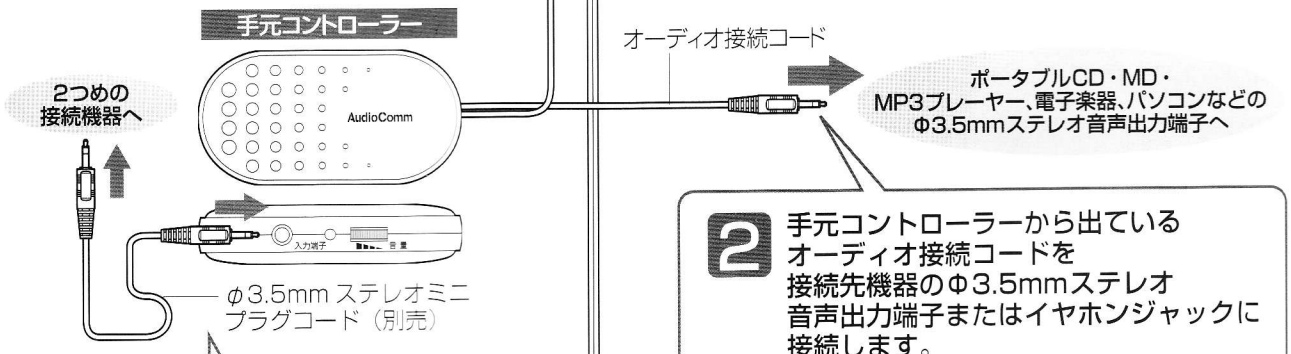
手元コントローラー 側面



接続方法　【ご注意】本機と接続する機器双方の電源を切って行ってください。

1 スピーカーケーブルを本体背面のスピーカー出力端子に接続します。





ヒント

手元コントローラーの入力端子に2つめの外部機器を接続して音楽や音声を楽しむこともできます。

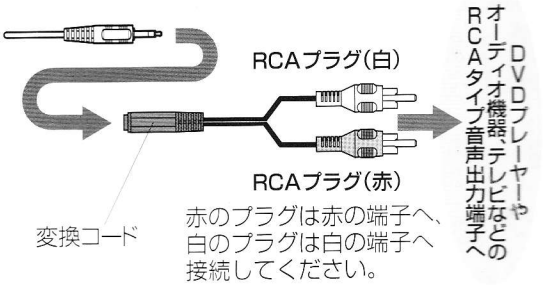
※φ3.5mm ステレオミニプラグコード（別売）で双方を接続してください。
※相手機器のイヤホンジャックに接続した場合は、相手機器側のスピーカーからは音が出なくなります。
※この入力端子に機器を接続した場合、ステップ 2 で接続した機器からの音は出力されなくなります。

2 手元コントローラーから出ている オーディオ接続コードを 接続先機器のΦ3.5mmステレオ 音声出力端子またはイヤホンジャックに 接続します。

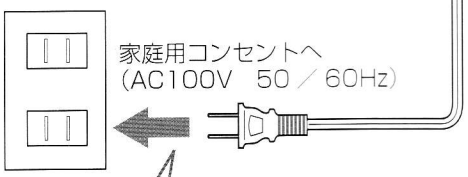
※φ3.5mmステレオミニプラグに対応した端子に接続してください。
※イヤホンジャックに接続した場合は、接続機器側のスピーカーからは音が出なくなります。

接続機器にRCAタイプの端子しかない場合は…

付属の変換コードを使ってオーディオ接続コードと、接続機器側のRCAタイプオーディオ出力端子を接続してください。



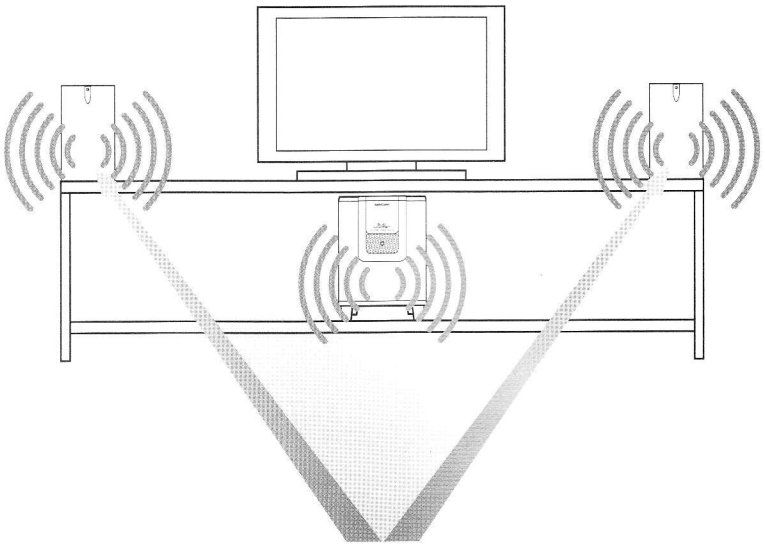
※付属の接続コード以外にも、いろいろな音声出力端子に対応した接続コードをご購入いただければ、接続できる機器も増えます。
※モノラルイヤホンジャックに接続しても本機は動作しません。



3 家庭用コンセントへ 電源プラグを差し込みます。

設置のしかた

お聴きになる場所の正面にサブウーファーを置き、そこから左右等距離の位置にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい 2.1ch サウンドをお楽しみいただけます。

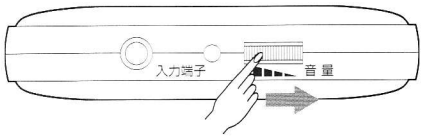


ご使用方法

前ページを参照して、正しく接続した後にご使用ください。なお、本機の電源を入れる時は、必ず接続機器側の電源も切った状態にして、操作してください。

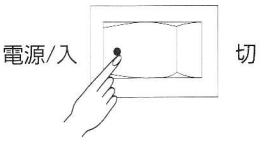
1 手元コントローラーの音量ダイヤルが最小になっていることを確認してください。

【ご注意】接続機器が動作している時（再生中など）に、本機の電源を入れることは絶対にやめてください。本機の音量設定が大きいと、突然大音量を発するだけでなく、故障の原因となります。電源スイッチを入れる際は、必ず音量ダイヤルを最小にしてください。



2 本体背面の電源スイッチを「入」にします。

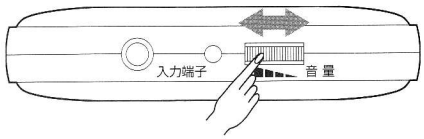
電源を入れると、本体正面と手元コントローラーの電源ランプがそれぞれ点灯します。



3 接続した機器側の電源を入れ、再生状態にします。

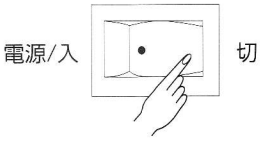
4 音量ダイヤルで音量を調節します。

【ご注意】
- ●周囲の迷惑にならない音量でお楽しみください。
- ●音量操作はできるだけ本機の音量ダイヤルで行ってください。特に外部機器のイヤホンジャックに接続している場合、接続を解除した時に外部機器側のスピーカー出力が大音量になることがあります。



5 本機でのスピーカー再生を終える時は、電源スイッチを「切」にします。

本体正面と手元コントローラーの電源ランプが消灯します。



主な仕様

定格出力	総合 6.5W （サブウーファー 3.5W＋サテライトスピーカー 1.5W＋1.5W）
スピーカー	サブウーファー　口径 88mm　8Ω サテライトスピーカー　口径 76mm　4Ω
周波数特性	サブウーファー　80Hz～300Hz サテライトスピーカー　280Hz～18kHz
スピーカー仕様	防磁型ユニット
電源	AC100V　50／60Hz
消費電力	12W
寸法・質量	サブウーファー　幅 144× 高 205× 奥行 175mm　約 1.7kg（突起物含まず） サテライトスピーカー　幅　90× 高 153× 奥行　99mm　約 0.35kg×2
付属品	手元コントローラー 変換コード 1 本（φ3.5mm ステレオミニプラグ↔RCA プラグ） 取扱説明書／保証書（本冊子）

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れのしかた

●キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時には、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。
●殺虫剤やヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色や変質の原因となることがあります。
●電源コードのプラグにホコリがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。

**シンナー、ベンジン
アルコールなどは使用しないで
ください。**

故障かな?と思ったら

音が出ない

●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
●本体背面の主電源スイッチが切になっていませんか。もしくは手元コントローラーの音量ダイヤルが最小になっていませんか。
●スピーカーコードはしっかりと接続されていますか。
●本機と接続したい機器は正しく接続されていますか。
●接続している機器の電源が切れていませんか。その機器が電池を使用している場合、電池が消耗していませんか。
●本機と接続している機器の音量は適切に調節されていますか。

片側からしか音が出ない

●モノラル機器と接続されていませんか。